事業報告概要書（公表版）

1　基本情報

施設名又はグループ名	指定管理者名及び団体概要
神代植物公園	（指定管理者名）公益財団法人　東京都公園協会 （団体の概要）都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業（指定管理者事業を含む）及び収益事業を行う。
指定期間	
H28．4．1　～　R8．3．31（10年間）	

2　施設名

神代植物公園

3　収支(単位:千円)

	項目	令和７年度 金額	令和６年度 金額	令和５年度 金額	公園別支出額
収入　計		758,730	681,066	669,356	神代植物公園：758,535
内訳	指定管理料	758,730	681,066	669,356	
内訳	利用料金	0	0	0	
内訳	その他収入	0	0	0	
支出　計		758,535	686,729	660,311	
収支差		195	△5,663	9,045	

4　管理運営の概要

【江戸園芸文化の保存・継承】

ツバキ、ツツジなど古くから伝わる園芸品種をデータベースや植栽マップの作成により適切に栽培管理するとともに、シンポジウム「江戸に花開いた園芸文化」や特別企画展「八千代寿ぐ江戸の華　つばき」を開催するなど江戸園芸文化の保存継承を進めた。

【植物多様性の保全】

東京都が定める優先保全対象種（118種）のモニタリング調査を完了し、新たに５種の生息域外保全に取り組むなど絶滅危惧植物の保護増殖を進めた。また、保全団体等との情報連絡会やチルドレンズミュージアムの拡大により、植物多様性に関する情報発信と普及啓発を進めた。

【魅力向上と情報発信】

ショクダイオオコンニャクの国内最多同一株６回目の開花に際し初の夜間公開を行い、企業連携による「みんなのピアノ」では夏季毎週末のコンサートを開催するなど賑わいを創出した。また、深大寺周辺地域を含むデジタルマップの公開やSNSの活用により当園の魅力をリアルタイムで発信するとともに、地域と連携し積極的な広報活動を展開し、利用拡大を図った。

5　管理状況

①維持管理

■培った栽培技術により、ショクダイオオコンニャクの国内最多となる同一株６回目の開花に成功した。
■さくらそう会の協力でサクラソウの花序を用いた新たな増殖方法を開発し、日本植物園協会大会で発表した。
■日比谷公園つつじ山再生事業にツツジ苗の育成やワークショップ講師派遣、技術助言で協力した。
■猛暑で衰弱したサクラ「神代曙」の原木に専門家と連携し不定根誘導などの樹勢回復処置を実施。樹齢75年のソメイヨシノ並木は、重心を低くする若返り剪定で安全を確保しつつ保全を進めた。
■国内希少野生動植物種であるシマキンレイカの増殖に走出枝を用いることで成功、多数の苗が得られたことから学習園に植栽展示した。栽培の知見は、日本植物園協会植物特性データベースで共有した。
■優先保全対象種118種のモニタリング調査を完了。保護・増殖カルテを更新し東京都や日本植物園協会の保全事業に活用した。
■都内野生絶滅種オヒルムシロやオキナグサのほか、フジバカマ、カキラン、ヤマトキソウの植物体や種子からの生息域外保全に新たに取り組み、東京の絶滅危惧植物の保全に貢献した。
■ドッグランボランティアや利用者と協力し、毎月行う清掃や除草、石拾いに加え、新たに砂利敷きの試行や、６月と11月には職員と合同で清掃と利用ルールの呼びかけを時間を拡大して実施し、利用者のマナー向上を図った。
■高木化したコナラの倒木が発生したため、樹木の日常点検と定期点検・樹木医診断に加え、緊急樹木点検と樹木医診断、伐採等処置を最優先で完了。さらに、高木類の幹の切り下げなど安全対策を徹底した。

②利用者への対応

■ショクダイオオコンニャクの開花に際し、一夜限りの世界で最も臭いという花を体感できるよう、初めて夜間公開を企画。開花の兆候を午後確認し15時過ぎにプレス発表、雨の中に関わらず２千人以上もの人が来場した。
■日本植物園協会と共催でシンポジウム「江戸に花開いた園芸文化」を開催し、Webを含め全国から254人が参加、また、ツバキの見ごろに合わせ特別企画展「八千代寿ぐ江戸の華つばき」を開催し、江戸園芸の魅力と価値を広く発信した。
■ブルガリア大統領夫人を迎え、同国のダマスクローズと東京都から当園のツバキ「神代桃錦」を交換する式典開催に協力した。
■世界バラ会議福山大会の開催に伴い、各国からのポストツアー参加者を迎えレセプションを開催、当園のばら園の魅力を発信した。
■世界三大ピアノのひとつベヒシュタイン社のグランドピアノを同社の協力により夏休み期間設置。期間中849人（１日平均24人・昨年度比120％）が演奏し、コンサートも昨年の２回から６回に拡大、猛暑の中、涼しいくつろぎの場を提供した。
■深大寺やそば店と連携し、周辺地域を含むデジタルマップを公開。見ごろの花やイベントをリアルタイムで紹介し、夏はクールスポット、秋は紅葉スポットを巡るスタンプラリーを開催し周遊利用を促進した。
■深大寺境内に四季を通じ花装飾を実施。大温室夜間公開時は僧侶による声明を上演するなど、地域一体となり観光振興を推進した。
■バラフェスタや梅まつりなど四季を通じたイベントとSNS等を活用した情報発信に加え、新たに小田急線沿線等へのポスター掲出やラッピングバス運行、アニメ「銀魂」とコラボしたスタンプラリー等積極的な広報を展開し、入園者は昨年度比110％に増加した。
■亜細亜大学と連携した外国人へのアンケート調査や台湾旅行博への出展によりニーズを把握し、今後の海外向け広報に繋げた。
■チルドレンズミュージアムの取組により親子の利用が増加。新たに近隣中学校や北海道の中学生も受け入れ学習プログラムを実施し、次世代への普及啓発が充実した。
■調布市や自治会、消防署、警察署、自衛隊、獣医師会等と連携し、「防災フェスタ」を開催。防災クイズガチャや防災施設見学会、ペット同伴避難訓練等も実施し、２日間で親子連れなど1,500人が参加、多世代が楽しみながら災害対応力を向上した。
■調布市との風水害時における協定に基づき実施している通信訓練を年１回から毎月に拡大し、連携をより強化した。

6　利用者アンケート結果

実施方法：公園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWebアンケート

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の応対
神代植物公園	4.7	4.6	4.6	4.8	4.7

7　入園者数の状況（単位：人）

施設名	当該年度	分析
神代植物公園	776,392	江戸園芸植物をはじめ貴重な植物コレクションを活かして植物展示の充実を図るとともに、深大寺周辺地域を含むデジタルマップの運用や連携した広報活動により、地域一体となって観光振興を図った。記録的な猛暑に対し夜間公開や室内での「みんなのピアノ」の拡大などにより快適な利用環境を提供した。これらの取組により、来園者数は、昨年度比111％、目標を超える77.6万人に達した。
合　計	776,392	

（公財）東京都公園協会

神代植物公園

江戸園芸文化と植物多様性を次世代へ伝える

所在地：調布市／開園面積：51.9ha

植物公園の魅力を広く発信、賑わいを創出

NEW ショクダイオオコンニャク開花、最も臭い花を体感

ショクダイオオコンニャクの**国内最多となる同一株6回目の開花に成功**。一夜限りの臭いを体感できるよう初の夜間公開を企画。開花の兆候を午後確認し15時過ぎにプレス発表、**雨の中2千人以上が来場**。

ショクダイオオコンニャク開花日の夜間公開（6月）

NEW 植物を通じ世界との交流を促進

ブルガリア大統領夫人を迎え、同国のダマスクローズと東京都から**当園のツバキ「神代桃錦」を交換する式典に協力**。また、世界バラ会議福山大会のポストツアーを迎えレセプションを開催、**当園ばら園の魅力を発信**。

ブルガリア大統領夫人を迎え植物交換（5月）

Update 企業連携により夏期、毎週末のコンサート

世界三大ピアノの一つベヒシュタイン社のグランドピアノを夏休み期間設置。**期間中849人（1日平均24人・昨年度比120％）が演奏**し、コンサートも昨年の**2回から6回に拡大**、涼しいくつろぎの場を提供。

賑わう毎週末のコンサート（7･8月）

地域一体での観光振興により、入園者目標を超える77.6万人達成！

NEW 深大寺周辺地域との連携を強化

深大寺やそば店と連携し、周辺地域を含む**デジタルマップを公開**。見ごろの花やイベントをリアルタイムで紹介し、夏はクールスポット、秋は紅葉スポットを巡るスタンプラリーを開催し周遊利用を促進。深大寺**境内に四季を通じ花装飾を実施**、大温室夜間公開時には**僧侶による声明を上演**するなど、一体となって観光振興を推進。

デジタルマップ上でのスタンプラリー

ばらテラスでの声明上演

NEW 積極的な広報活動を展開

バラフェスタや梅まつりなど**四季を通じたイベント**とSNS等を活用した情報発信に加え、新たに小田急線沿線等へのポスター掲出や**ラッピングバス運行**、**アニメ「銀魂」とコラボしたスタンプラリー**等を実施。**入園者は昨年度比111％、77.6万人に増加**。亜細亜大学と連携し外国人へのアンケート調査を実施、今後の海外向け広報に反映。

春のばらコンサート（5月）

四季の花をデザインしたラッピングバス

高い栽培技術と発信力で江戸園芸文化を継承

NEW 江戸園芸文化の魅力を広く発信

日本植物園協会と共催で**シンポジウム「江戸に花開いた園芸文化」**を開催し、Web含め全国から254人が参加。**特別企画展「八千代寿ぐ江戸の華つばき」**を開催。

シンポジウム「江戸に花開いた園芸文化」（11月）

NEW 培った高度な栽培技術を活用、発信

さくらそう会の協力で**サクラソウの花序を用いた増殖方法を開発**し、日本植物園協会大会で発表。日比谷公園つつじ山再生事業に**育苗や講座講師、技術助言で協力**。

サクラソウの新たな増殖方法を発表（５月）

Update 樹木の安全を確保しつつ、東京ゆかりの桜を保全

猛暑で衰弱したサクラ「神代曙」の原木に専門家と連携し**樹勢回復処置を実施**。樹齢75年のソメイヨシノ並木は、重心を下げる若返り剪定で**安全を確保しつつ保全**。

サクラ「神代曙」原木の樹勢回復処置

東京の植物多様性を着実に保全

NEW 貴重なシマキンレイカの増殖に成功

国内希少野生動植物種**シマキンレイカの増殖に成功**し、多数の苗を得て学習園にも植栽展示。栽培の知見は、日本植物園協会植物特性データベースで共有。

増殖したシマキンレイカの苗と花

Update 優先保全対象種をはじめ絶滅危惧植物を保全

優先保全対象種118種のモニタリング調査を完了。保護・増殖カルテを東京都の保全事業に活用。また、都内野生絶滅種オヒルムシロ等**５種を新たに生息域外保全**。

保護したオヒルムシロ（左）とオキナグサ

Update 幅広い世代に植物多様性を普及啓発

チルドレンズミュージアムの取組により親子の利用が増加。新たに近隣中学校や北海道の中学生も受け入れ学習プログラムを実施し、**次世代への普及啓発が充実**。

近隣中学校への夏季プログラムの成果発表

防災公園として災害対応力を強化

Update 地域と連携し災害対応力を向上

恒例の「防災フェスタ」に２日間で親子連れなど**1,500人が参加**、また、調布市との風水害時の協定に基づき、**通信訓練を年1回から毎月に拡大**し、連携を強化。

防災フェスタ（1月）

樹木の安全管理を徹底

Update 老木・高木化した樹木の安全確保

高木化したコナラの倒木が発生したため、緊急樹木点検と樹木医診断、伐採等処置を最優先で完了。さらに、高木類の幹の切り下げなど**安全対策を徹底**。

高木の幹の切り戻し剪定